

へ"議会だより つつかい

第109号

2024年5月

子育て世代に寄り添う支援でもう一人!!
撮影協力：別海子育て応援スペース「みるきっず」

特集

新年度予算は子育て世代への支援を強化！… 2

義務教育学校設立に向けた準備始まる。

少子化を見据えた計画になるか!?…………… 3

町立別海病院が経営強化プランを作成…………… 4

酪農分野の物価高騰対策として、国・道・町では緊急対策を実施 … 5

一般質問(田村、中村、伊勢、高橋、外山、横田、吉田、市川、松原、今西の10議員) … 6

定例会・臨時会のまとめ…………… 11

議会のうごき…………… 12

シリーズ 町民に聞きました

別海町での子育て、お母さんのホンネ … 12



北海道別海町議会

新年度予算は子育て世代への支援を強化！



お母さんたちが利用する「みるきっず」（仲良くおやつモグモグタイム）

新年度予算では、子育て世代への支援を行う施策が多く盛り込まれています。

「**出産・子育て応援給付金事業**」では、妊婦に5万円、新生児一人につき5万円を給付します。

加えて「**出産祝金贈呈事業**」でも子ども一人につき10万円の給付を行います。

「**子ども医療費助成事業**」は医療費の無償化を高校生まで拡充、「**小学校および中学校に在籍する児童生徒の学校給食費**」を無償化するなど、支援力を入れています。

予算額は「**出産祝金・出産・子育て応援給付金**」に約2339万円、「**高校生以下の医療費無償化助成**」に約5718万円、「**学校給食費の無償化**」に約1億1670万円が計上されています。

これらの財源には、国や道の補助金、地方債、子ども・

子育て応援基金などが充てられています。

「**子ども・子育て応援基金**」は、今後も安定して子育て世代への支援を行うため、昨年12月定例会で新設された基金で、ふるさと応援寄附金から20億円積み立てを行っています。

この基金からは、外国語指導助手を招致する費用や妊婦健康診査の費用、いじめ・不登校問題の対策事業など、令和6年度予算では1億8840万円の繰り入れを行います。令和6年度の一般会計の総額は244億7200万円ですが、このうち地方交付税や補助金などの依存財源は122億9800万円の50・3%となっています。

自主財源には、町税約24億円やふるさと応援寄附金50億円などを見込んだ121億7400万円の予算となっています。

議員定数等 調査特別委員会を設置

第3期別海町議会活性化計画に基づき「議員定数等調査特別委員会」を設置しました。

特別委員会は、令和8年3月までの2年間の任期で、1期の議員3名に加えて、各期の議員を1名ずつの合計8名で構成しています。

委員長が松原議員、副委員長は田村議員、委員として中村議員、今西議員、小椋議員、高橋議員、吉田議員、市川議員が選出されています。

今後、より議会が活性化し、町民の期待に応える「行動する議会」を目指すため、2年間しっかりと議論を行っていきます。

特別委員会では、議員の定数と報酬についての検討に加えて、委員会構成などについても議論していきます。

総務文教常任委員会の活動報告

担当所管 総務部・教育委員会など 委員長 佐藤 初雄 副委員長 田村 秀男 委員 戸田 憲悦・吉田 和行・市川 聖母

義務教育学校設立に向けた準備始まる。 少子化を見据えた計画になるか!?

令和6年度予算において決まった「義務教育学校整備事業」は、2023年議会だより11月号でもお伝えしていた「小中一貫教育推進計画」に関わるものとして、校舎をどのような形態にしていくなか、校舎の老朽化状況、改修時期や児童生徒数などを考慮した上での十分な検討が必要になってきます。

別海中央地区では学校・保護者・地域で組織する「子どもの未来サポート協議会」からの要望により、令和6年度から校舎一体型の義務教育学校設立を目指した計画が始まることとなりました。

事業期間

令和6年度から令和10年度（令和11年度開校を目指す）

事業費

別海中央地区義務教育学校

建設基本構想策定業務委託
3千万円

今後の予定

- 令和6年度基本構想策定
- 令和7年度基本設計
- 令和8年度実施設計
- 令和9年度～10年度建設工事
- 令和11年度義務教育学校開校



昭和51年建設、開校100年を迎えた町立別海中央小学校

町民への周知、学校・保護者・地域の声が正確に反映されているかなど、しっかりと継続調査をしていきます。

指定管理施設の現況と課題について

指定管理者制度とは、地方公共団体が指定する民間事業者などが公の施設を管理運営できる制度です。

令和5年度現在の指定管理状況は56施設あり、令和4年度における委託料の決算額は約2億5801万円。

令和6年1月の委員会調査において指定管理施設1件の廃止（地域会館）、1件の休止（運動広場）の報告がありました。

今後、指定管理制度対象施設の見直しが必要です。

アンケート、モニタリング結果を有効活用した対応を早期に進めていけるよう継続調査していきます。



指定管理が休止となる西春別運動広場

第4回定例会以降に取り組んだ主な調査は次のとおりです。

- 指定管理施設の現況と課題について
 - 中長期財政運営基準の見直しについて
 - スポーツ・教育文化施設の管理方法や運営経費について
 - 小中一貫教育に係る計画内容について
- なお、継続調査が必要と判断した所管事務調査事項については、3月定例会で議決されましたので、令和6年度に調査をしていきます。

福祉医療常任委員会の活動報告

担当所管 福祉部・別海病院など 委員長 外山 浩司 副委員長 宮越 正人 委員 中村 忠士・小椋 哲也・高橋眞結美

町立別海病院が 経営強化プランを作成

町立別海病院の 運営について

別海病院では、3月末に内科医1名、外科医1名が退職、産婦人科医1名が定年退職しました。

産婦人科医は、会計年度任用職員として引き続き勤務します。

診療体制を維持するために、派遣医師などにより対応しています。

町民に不安とご迷惑をおかけしている状況であるとの報告を受けました。

病院では、コンサルタントを活用して、「町立別海病院経営強化プラン」を3月に作成しました。

これは、令和6年度から医師の時間外労働の上限が適用されることへの対応、看護師

や薬剤師などの医療従事者が

不足していること、高齢化に伴う医療需要の変化などへ対応したプランになっています。

基本理念として、「患者家族の視点に立った病院」「安全で安心な災害に強い病院」「環境にやさしい病院」の三点を掲げています。

また、病院の課題として「医療人材の確保」「救急医療体制の確保」「当院の役割と地域との医療連携」「経営の改善」が挙げられています。

今後4年間、この経営強化プランに沿った経営が進められていきます。

福祉除雪について

福祉除雪は、高齢者や障がいのある方で除雪が困難な世帯に対して、玄関から公道ま

での除雪を行い、避難経路を確保する事業です。

令和4年度は、市街地で104世帯、郊外で85世帯の利用がありました。

利用方法は、町へ申請をして、介護認定、障がい者認定、年齢などの条件が一定の基準に達すると対象になります。

市街地は人力除雪、郊外は除雪車対応で、おおむね10秒以上の降雪量の時および道路除雪が行われる時に実施となります。

現在、人力除雪を行う団体は一団体のみであり、高齢化に伴い作業員の不足が生じています。

今後、対処できなくなる可能性に備えて、対応策が必要になっていきます。

保育園の状況について

令和5年度は、認定こども園が3園で170名、へき地保育園が4園で36名が利用しています。

保育士・栄養士・調理人などの職員は、認定こども園で47名、へき地保育園で10名が働いています。

この他に、勤務先を特定しないパートタイム職員が12名おり、各園で人手が不足する際に対応しています。

0歳児から2歳児までの受け入れは、別海保育園と上西春別保育園に限られ、地域により送迎が親の負担になっている状況もあるようです。

令和6年度は、本別海へき地保育園の入園児がいないため、休園する運びになりました。



園長先生の顔を見ながら、お話を聞く13名の卒園児（中春別保育園）

産業建設常任委員会の活動報告

担当所管 産業振興部・建設水道部など 委員長 今西 和雄 副委員長 横田 保江 委員 松原 政勝・貞宗 拓雄・伊勢 徹

酪農分野の物価高騰対策として、 国・道・町では緊急対策を実施

酪農振興対策について

令和5年度、酪農における飼料や肥料などの高騰対策として、令和5年8月～令和6年1月の6カ月間、水道料金を減免しました。

事業費は約1億8千万円です。

資材高騰に対する今後の対策は、関係団体と連携を密にし、物価や生乳需給の状況、国や道の対策の状況などを注視し、必要に応じ検討すると報告があり、引き続き調査します。

水産系副産物再資源化施設について

不要となった堆肥原料の新たな処分方法を検討していましたが、実用化することがで

き、焼却以外の処理が可能となりました。

今後さらに研究を重ね、ホタテウロの安定処理に向けて取り組んでいくことです。今後の推移を注視していきます。

上下水道事業の経営などについて

別海町下水道等事業経営戦略が作成されました。

「うるおいのある安全安心の快適な居住環境」を目指し、次世代に大きな負担が繋がらないよう、令和7年度から令和15年度まで最小限の値上げをするとの報告がありました。

中小企業等支援対策について

別海町中小企業人材確保・育成事業として、就職奨励金・奨学金返還支援金を支給。具体的 な事業展開については、商工会や事業者と連携を図り対応するようです。今後の事業推移を注視していきます。

除雪の状況について

順調に除雪作業は行われていますが、費用については3月に補正予算を計上し対応します。



《令和6年4月～令和7年3月までの調査事項》

昨年度からの継続調査と新規の調査事項を計画しています。

◎第7次別海町総合計画について

◎酪農振興対策について

◎酪農研修牧場について

◎水産系副産物再資源化施設の運営について

◎秋サケ漁業持続化支援等について

◎北方資源増大対策事業について

◎中小企業等支援対策について

◎観光振興対策について

◎ふるさと交流館について

◎町道などの整備および維持管理について

◎除雪について

◎空き家等対策について

◎上下水道事業の経営などについて



議員10人による一般質問

質問

地場産品売り場の構想は



田村秀男議員

回答の要約

物産館・道の駅という構想はないが、既存施設などを活用して販売などを新年度から進める準備をしている。

質問

交流館ぷらとを拠点に、地場産品の物産売り場をつくり、商店振興の起爆剤となる道の駅的な機能の創造に向けて検討する考えがあるか。

答弁

ぷらと内での物産販売所の開設ではなく、独立した建造物の新築が望まれているが、経営形態や施設の管理運営方法など課題が多く、具体的な協議に至っていない。新年度から横断的な議論を活発化させて、具体的に取り組んでいく。

公共施設跡地の利活用

質問

市街地の景観づくりおよび活性化の観点から、跡

地の利活用に関する構想の立案や取組の方向性をスピード感を持って早急に町民へ示すべきでは。

答弁

跡地利用については、議員から質問があるその前から職員にいろいろな観点から指示を出している。

現在、総合計画の見直しの中で、空地活用の町民アンケート調査を実施し、同時に町内の団体からヒアリングを行っているところ。

今後、常任委員会などで議員各位に意見を伺っていき、その過程において公共施設跡地の利活用に関する方向性を明らかにする。

質問

能登半島地震などを教訓に防災計画の見直しを



中村忠士議員

回答の要約

想定すべき事象が増えてきているので、早期の見直しに着手する。

質問

当町に著しい被害を生ずるおそれのある巨大地震の早期発生が想定されている。町の防災体制について聞く。

答弁

避難者想定数は2904人だが、段ボールベッドの備蓄は現在330台。足りるのか。調達の具体的方針は。

答弁

段ボールベッド制作企業と災害時の供給が受けられるよう協定を締結している。

また、根室管内5市町防災基本協定も締結している。

必要数の想定も増やすよう検討していく。

質問

災害用簡易トイレは、4万8千回分を備蓄するという町の方針だが、現在52%の

備蓄となっている。今後どうしようとしているのか。

答弁

令和10年度までに全数を購入する計画だったが、能登半島地震を経て早期備蓄の必要性を認識したので、計画の見直しを進める。

質問

避難所運営の責任者集団に女性が入っているということがあると思うが。

答弁

重要な視点だと思うので、取り組んでいく。

質問

能登半島地震などを教訓に防災計画の見直しを。

答弁

緊急輸送の見直しをしたが、その他想定すべき事象が増える可能性もあるので、早期の見直しに着手する。



詳細はこちらからご覧になれます

議員10人による一般質問

質問 人口減少化の中での外国人労働者の今後の重要性と行政の関わり方について



伊勢 徹議員

質問 当町に住んでいる外国人の国別の内訳について。

答弁 ベトナム268人、フィリピン128人、インドネシア79人、ミャンマー14人、中国13人、韓国8人、ネパール6人、モンゴル4人、タイ・アメリカ各3人、朝鮮・南アフリカ・イギリス各1人の合計13カ国、総勢529人。（令和5年12月末現在）

質問 労働力あるいは担い手不足解消などの外国人労働者は、どのような職種や分野で必要傾向がみられるのか。

答弁 今後、介護の在留資格を持つ外国人労働者の受け入れが増えると思われる。

回答の要約

町としては現在、外国人労働者の支援やサポート体制は整備していない。民間の交流や地域コミュニティの活発化を応援していきたい。

質問 外国人労働者の生活、仕事などに関わる支援やサポート体制など、町で具体的に実施しているか。

答弁 現在、町においては、支援、サポート体制は整備していない。

質問 外国人労働者と地域が共存共栄し、町内の経済を支え合うため、地域コミュニティへの受け入れや、相互理解交流のために行政は率先して取り組むべきだと考えるが。

答弁 民間レベルでの交流や地域コミュニティの活発化を町として応援したい。

質問 ふるさとの森動物館の今後は



高橋眞結美議員

質問 利用者から親しまれている動物館だが、観光やレクリエーションにも位置付けられ、情操教育の場を条例に掲げている中、動物の高齢化で空きスペースが目立っている。今後の方向性は。

答弁 施設の老朽化、動物の高齢化および来館者数が減少している。

また、野生動物を診療できる獣医師が不在となり、動物愛護の観点から、今後は、現在いる動物が寿命を全うできるように維持管理し、残された希少動物の状況を見て、閉鎖も視野に入れて協議・検討が必要と考える。

回答の要約

野生動物の診療ができる獣医師がいらない中、展示飼育し続ける不安は払拭できず、閉鎖も視野に入れて検討が必要。

合理的配慮の提供について

質問 障害者差別解消法における合理的配慮の提供が、4月から一般事業者も義務化。必要な配慮に関して、町民が理解しやすい啓発方法は。

答弁 ふれあいトーク宅配講座や、障がい者理解啓発研修などで周知・啓発に努める。

質問 町内の事業者が合理的配慮の提供に要する経費（手すりや簡易スロープなど）の補助が必要では。

答弁 お互いに歩み寄って対応可能な範囲での合理的配慮が重要で、費用の支援は考えていない。



議員10人による一般質問

質問 小野沼公園の利用者増に向け カヌーなどに乗れないか



外山浩司議員

回答の要約

カヌーなどを利用することは、特に規制を設けていない。安全面に気を付け、個人の責任で可能である。

質問 昭和56年に町立公園となり、平成20年後半までは、「小野沼公園まつり」などのイベントもあり、多くの来園者があった。令和に入るとコロナ禍もあり、桜のシーズン以外は、閑散とした状況である。

公園には池があり、二艘のボートが置かれている。カヌーなどに乗れないか。

答弁 機材の貸し出しは出来ないが、個人で所有しているカヌーなどを利用することは個人の責任で可能である。

直木賞作家への 町民栄誉賞は

質問 直木賞を受賞した河崎秋子さんは、町民栄誉賞の対象となると思われるが、考えは。

答弁 町民栄誉賞に該当する輝かしい功績である。そのための準備を進めている。

質問 病院や施設、学校に河崎秋子さんコーナーとして設置できるように本を寄贈できないか。

答弁 寄贈の考えはない。自治体として本や文化の保存に関する役割を図書館が担っている。

ブーム中だけでなく、長い年月にわたり地元の作家を紹介するなど、町民に広く浸透する取り組みをしていく。

質問 酪農家への 今後の支援策について



横田保江議員

回答の要約

町独自の対策は決めているが、物価や生乳需給の動向、国や道の対策を注視し、必要に応じ適切に対応する。

質問 酪農家の離農戸数は、令和3年17戸、令和4年22戸。後継者不足が一番の要因で、次は将来への不安と経営不振となっている。

令和5年の離農戸数と要因を町はどう分析しているか。

答弁 離農状況は、北海道の公表に合わせ、例年2月1日から翌年1月31日までの期間で集計している。

令和5年度の離農戸数は20戸。要因としては、後継者不足が昨年と比べ5戸減少し9戸、経営者の病気などが4戸増の5戸、将来の不安が2戸減の1戸、経営不振が1戸増の5戸。

昨今の酪農情勢により経営不振による割合が増え、また病気による突発的な離農の割合も増えている状況。

質問 令和6年度は国や道の動向を注視しながら、J A と協議して町としての対応を考えていくとのことだったが、酪農情勢を踏まえ、町の支援を町長はどう考えるか。

答弁 酪農家が意欲を持って経営を続けられるよう、国や道の対策を効果的に活用し、農協などと連携を密にし、引き続き酪農家への支援を行っていく。



詳細はこちらからご覧になれます

議員10人による一般質問

問 町の賑わい創出、振興策は進むのか!?



吉田和行議員

質問 中小企業振興審議会の開催状況を確認したい。

答弁 令和5年9月5日に開催し、令和4年度別海町中小企業振興施策の実績報告、次期行動指針(計画)の策定方針、町融資制度に係る新規創業支援枠の創設、別海町の地域経済循環分析の使い方と概要、4点について協議した。

質問 中小企業振興検討会議が最後に行われたのはいつか。

答弁 平成29年に法令に基づかない私的諮問機関を見直すよう国からの通達があり、平成30年に終了している。

質問 空き店舗の状況に係る団体と情報共有されているか。

回答の要約

審議会の方で検討・実行するような会・部会の必要性の話があり来年度会議で図っていただきたいと考えている。

答弁 町も商工会も把握していないと確認している。

災害時の酪農防災対策

質問 酪農業における非常用電源の確保状況は。

答弁 各農協への聞き取りにより、発電機整備済み農家561戸、整備率93%、ほぼ整備されていると認識している。

質問 営農用水確保についての協議内容を。

答弁 過去の経緯から、ミルクロリー車による応急給水での対応を考えているほか、国の交付金を活用したエンジンポンプの導入を進めている。

問 町民の交通インフラの整備とDXについて



市川聖母議員

質問 町民が必要としている交通手段と行政側の認識の違いがあると思うが。

答弁 一度に生活の質の向上までを図るのは困難だが、公共交通機関白地地域についての施策をさらに活用してもらえよう取り組んでいく。

また、交通手段の問題は、関係するそれぞれの部署が丸となって進めていかなければならないと認識している。

質問 業務委託している民間会社の運転手不足について見解は。

答弁 運転手の確保が困難な場合、65歳から69歳まで雇用延長を可能としている。

回答の要約

さまざまな取り組みを行っているが、全ての町民のニーズに対応できているとはいえない。関係するそれぞれの部署が丸となって進めていかなければならない。

バスの運行業に限らず、運転手確保は課題になることも想定している。大型免許の必要ない車両導入の検討も具体化していく考えがある。

町のDX化の今後は?

質問 人口減少などの課題を考えると、DX化に取り組むべきと思うが、どの分野で展開するのか。

答弁 どの分野と特定せず、さまざまな分野でDXを推進していく。

令和6年度は、書かない窓口を推進し、住民票および印鑑証明書の申請書の記載を省略するサービス開始を予定している。



議員10人による一般質問

質問 千島海溝型における 超巨大地震の津波対策について



松原政勝議員

質問 海岸沿いの集落地域

防災センターのほとんどは海拔2〜3mから12.5mの所に位置している。

巨大地震が発生した場合、一次避難所としての機能は十分に保たれているか。

答弁 海岸地域に所在する

避難所は、一階部分が柱のみで建てられているピロティ構造で建設していることから、一次避難所として安全が確保されている。

質問 巨大地震が発生した

場合、一次避難と二次避難の位置付けと役割は。

答弁 防災計画では、要配慮者の二次避難所への移動は

回答の要約

巨大地震が発生した時の二次避難所への移動は町において対応するが、対処できない時は根室振興局長に応援要請する。

町で対応する。

特に道路が寸断しやすいような場合は、空からの支援に頼らなければならないという事態も起きてくると思う。

そこはしっかり対応していきたい。

質問 学校や認定こども園、

へき地保育園に在園時、登下校中などに巨大地震津波警報が発令した場合の対応手順はできているか。

答弁 海岸地区にある幼稚園、小中学校では、避難手段

や安否確認方法など具体的に危機管理マニュアルを策定し、内容は保護者への周知も図っている。

質問 別海町の舵取りの要は



今西和雄議員

質問 今年5月に行われる

別海町長選挙への意向は。

答弁 志・継続中の事項完

結を目指し、町長選3期目の出馬を決意した。

質問 2期8年、行政運営

の自己評価と課題は。

答弁 1期目は、前町長急

逝を引き継ぎ町政を担ってきた。老朽化施設の改修・建て替え、子ども・子育て世代への対策を重点に行ってきた。

2期目はコロナ対策最中、町内全域に光回線設置。ふるさと納税を順調に伸ばし、ふるさと別海の発展に全力を尽くしてきた。

課題は、長期財政健全化・

回答の要約

町の歴史・先達への感謝を次世代へ繋ぎ、志・完結に向け、3期目出馬を決意。

福祉施設などの人材確保・企業誘致などと考えている。

質問 町長も議員も直接選挙で選ばれ、二元代表制の中、

役割を果たしている。議会に対する考え方は。

答弁 議会は議決機関であり、町民第一のもと最良・最善の判断をしていたとき、議

会活動に限らず、議員活動で多くの町民の声を伝えていた。きたい。

質問 輝かしき歴史を未来

に広げるために、何を大事に考えているか。

答弁 歴史をしつかり伝え、先達への感謝を忘れず次世代へ繋げていく。

定例会・臨時会のまとめ

令和6年第1回定例会会議結果報告

**18歳に引き上げ！
子ども医療費助成条例改正などを審議**

第1回定例会の概要

3月7日に招集され、会期を
3月15日までの9日間に決定。

1日目 3月7日

町長から行政報告、副町長
から提出案件の概要説明など。

議案などの内容説明

● 専決処分承認

● 条例の一部改正

令和5年度各会計補正予算
8件を予算決算審査特別委員
会に一括付託。

本会議を休会し、予算決算
審査特別委員会を開催。

広報・広聴常任委員会を開
催。

2日目 3月8日

本会議が再開され、予算決
算審査特別委員会付託事件審
査結果報告および採決が行わ
れ、先議議案（令和5年度各
会計補正予算8件）を可決。
令和6年度各会計予算8件

を予算決算審査特別委員会に
一括付託。

● 条例の一部改正15件

● 辺地に係る公共施設の総合
整備計画の変更

● 町道の路線認定及び廃止

● 人権擁護委員候補者の推薦

● 根室町村等公平委員会委員
の選任

● 専決処分の報告

議案に関する主な質疑

● 別海町介護保険条例

（中村委員）

● 別海町子ども医療費助成に
関する条例

（佐藤委員・伊勢委員）

3・4日目 3月9・10日

本会議を休会。

5日目 3月11日

本会議を再開し、議員7名
が一般質問に登壇。

6日目 3月12日

議員3名が一般質問に登壇。

本会議を14日まで休会し、
産業建設常任委員会を開催。

7日目 3月13日

予算決算審査特別委員会を
開催。

令和6年度一般会計当初予
算を審査。

8日目 3月14日

予算決算審査特別委員会を
開催。

令和6年度各特別会計およ
び各企業会計の当初予算を審
査。

総務文教常任委員会および
福祉医療常任委員会を開催。

9日目 3月15日

本会議を再開する。

予算決算審査特別委員会付
託事件審査結果報告8件。

別海町議会委員会条例の一
部改正。

議員発議による3件の意見
書を可決。

● 将来にわたり安心安全な医
療・介護制度の提供を求め
る意見書

● 食品ロス削減への国民運動
のさらなる推進を求める意

見書

● 防災・減災、国土強靱化対
策のさらなる推進を求める
意見書

各議案の討論・採決が行わ
れ全ての案件が可決。

予算決算審査特別委員会の
設置。

議員定数等調査特別委員会
の設置。

各常任委員会閉会中の継続
調査事件を決定。

第1回臨時会の概要

1月29日に開催。

町長から、河崎秋子さんの
直木賞受賞と別海高等学校野
球部の選抜高等学校野球大会
出場決定の報告。

令和5年度一般会計補正予
算（第8号）専決処分の承認。

令和5年度一般会計補正予
算（第9号）、別海町手数料条
例の一部を改正する条例の制
定を可決。
専決処分の報告。

シリーズ 町民に 聞きました

別海町での子育て、お母さんのホンネ

今年度の予算で特に重点を置かれた子育て世代への支援策について、子育て真っ最中のお母さんたちに伺いました。(写真 左：田辺野奈さん、右：竹花 李さん)



広報委員 別海町では出産関連の給付を行っています。受け取ってみてどう感じましたか。

お母さん お金のかかる時期なので、率直にありがたいです。ただ、単純な一律の給付だけでなく、個別の実情に合った支援があると思うます。

広報委員 何か具体的なケースはありますか。

お母さん 別海病院で出産ができなくなってから、遠方の病院などで出産する場合も増えています。体調面や天候などのトラブルがあると入院日数が伸びて、出産一時金では足りなくなる場合もあります。こういう時に、別海町独自の支援があると、安心して出産できると思います。

他にも妊婦健診も負担なく受けられるといいなと思います。特に双子の場合、健診回数も増えるので、自己負担が大きくなってしまいます。

広報委員 子育てする中で困ったことはありませんか。

お母さん 年度の途中で保育園に入りにくいのが、出産時期によっては働き始めるタイミングが遅くなり大変でした。就学してからですが、さまざまな面でも少し選択の幅があると、子育てしやすい環境になると感じます。

広報委員 全国的な傾向でもありますが、別海町では子どもの数がどんどん減っていますよね。

お母さん 昨年生まれた子どもの数が64人と聞いてびっくりしました。次の子どもを作るか夫婦で話したり、ママ友たちとも話することがあります。

子育てや家のこと、仕事などで時間と精神的な余裕をどれだけ保てるかだと思います。

実態にあった子育ての支援や、子育て世代が暮らしやすくなるようなサポートがあると子どもが増えるのかなと思います。もっとお母さんたちの声を聞く機会を作りたいです。

広報委員 議会としても委員会などで、お母さんたちの声を聞く機会を作りたいと思います。

令和6年6月定例会の予定

6月20日(木) 10時～	1日目 本会議(議案の説明・質疑など・行政執行方針)
6月21日(金)～23日(日)	2～4日目 休会
6月24日(月) 10時～	5日目 本会議(一般質問)
6月25日(火) 10時～	6日目 本会議(一般質問) 予算審査特別委員会
6月26日(水) 10時～	7日目 常任委員会
6月27日(木) 10時～	8日目 本会議(議案の討論・採決など)

6月						
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

※議事の内容は、変更することがありますので、議会ホームページをご確認されるか、議会事務局までお問い合わせください。

一般質問の傍聴に きてみませんか？

議会の会議は、誰でも傍聴できますが、体調不良の方は傍聴をご遠慮いただく場合がありますのでご了承ください。

議会のうごき 12月定例会終了後から3月定例会まで

1 議長、副議長、各議員(委員)の動向について

期 日	内 容	備 考
12月21日	根室町村議会議長会第1回臨時総会 (中標津町)	正副議長
1月5日	別海消防団消防出初式 (別海町)	議長
	別海町新年交礼会 (別海町)	議長
1月30日 ～2月2日	全国市議会議長会基協協議会第108回理事会及び第87回総会 (東京都 札幌市)	議長
2月7日	「北方領土の日」根室管内住民大会 (根室市)	議長
2月9日	白糖町議会行政視察対応 (別海町)	正副議長 総務・文教委員会

2 一部事務組合・広域連合議会について

期 日	内 容	備 考
3月1日	根室北部消防事務組合議会定例会 中標津町外 2町葬斎組合議会定例会 根室北部廃棄物処理広域連合議会定例会 (中標津町)	関係議員

※議案などの関係資料は、事務局に保管しています。

行楽シーズン！飲酒運転は絶対に止めましょう！！